

# 弟子屈町地域公共交通活性化協議会

平成20年3月10日設置  
平成21年3月13日連携計画策定



弟子屈町

## 概要

弟子屈町は、摩周湖、屈斜路湖等の景勝地を有し毎年多くの観光客が訪れるが、通過型観光が主流であるとともに、その多くがマイカーを利用するため、排気ガスによる自然環境への負荷が懸念され、また、高齢者等の貴重な交通手段である路線バスも近年利用者数は減少傾向であることから、環境負荷の小さい摩周湖アクセスの確立、生活路線の維持に向けたバス路線の再編・ダイヤの見直しによる利便性の向上・観光交通としての活用、ボランティアガイド体制の充実と組織化等を行い、魅力ある公共交通の創出と利用促進を図ることにより、環境にやさしく、生活交通と観光交通が一体となった地域交通体系の構築を図る。

### 環境負荷の小さい摩周湖アクセスの確立(21年度～)

公共交通機関で観光できる環境の形成を目指し、JR釧網本線や町内のバス、レンタサイクルなどの交通手段が1枚のパスで利用可能となる「町内周遊フリーパス」を発行し、JRとバスのスムーズな接続、空港アクセス等の実証実験を行い、車以外の公共交通機関によるアクセスの充実を図る。

### バス路線の再編・ダイヤの見直しによる利便性の向上・観光交通としての活用(21年度～)

通学や通院、買物、観光などバスの利用目的に応じた路線の再編やJRとの接続を考慮したダイヤの見直しを行いながら地域公共交通と観光交通との融合・連携を目指し、景勝地周遊バスや地域循環バス等による実証運行を行う。

### ボランティアガイド体制の充実と組織化(21年度～)

来訪者への地域情報の提供やおもてなしの観点から、総合インフォメーションセンターを駅舎内に設置し、JRにより来訪する観光客へ、町民ボランティアガイドがバスの接続案内や着地型観光の情報発信を行うための体制の充実と組織化を行い、地域交通の魅力向上と利用促進を図る。



# 弟子屈町地域公共交通活性化協議会 計画事業の取組状況

協議会開催状況	3回開催	分科会等開催状況	-
---------	------	----------	---

回数は、平成21年度末までの開催予定

## 主な事業内容

- 摩周・屈斜路環境にやさしい観光交通実証運行
- JRとの接続等アクセス環境の整備
- エコ交通実証運行
- 観光マーケットボリューム調査
- BDF燃料有効性の検証
- 鉄道・バス共有「弟子屈えこパスポート」の発行
- 鉄道・バス・自転車等連携した町内周遊フリーパスの発行
- フリーパスと町内商店街との連携

- 駅ボランティアインフォメーションセンターの設置・運営
- エコ交通実証運行に併せた、観光客への総合インフォメーションセンターの設置
- ボランティアガイドによる観光客への案内及び着地型観光の情報発信
- サイクル&ライドの実施
- JR駅及び道の駅にレンタサイクルの設置
- バスへの自転車持ち込み
- 公共交通利用促進・啓発活動
- ペロタクシーの運行
- ペロタクシーによるラッピング広告等
- 観光交通シンポジウムの開催

## 実施状況

- 摩周・屈斜路環境にやさしい観光交通実証運行
- 「弟子屈2daysえこパスポート」を中心とした、摩周バス、屈斜路バス実証運行
- 期間：7月18日～10月12日
- 鉄道・バス共有「弟子屈えこパスポート」の発行
- 「弟子屈2daysえこパスポート」を発行
- 摩周湖バス、屈斜路バス、及び町内全ての路線バス、JR釧網本線(摩周駅～川湯温泉駅区間)2日間乗り放題、大人1,000円子ども500円にて発売
- 駅ボランティアインフォメーションセンターの設置・運営
- JR摩周駅、川湯温泉駅に「えこバスステーション」を設置し、常駐の案内員配置
- 駅をご利用されるお客様に対し、えこパスポートによる公共交通への円滑な接続や着地型観光情報の提供

- サイクル&ライドの実施
- 摩周駅、川湯温泉駅、道の駅、観光案内所にレンタサイクルを設置(20台)。
- 「えこバスステーション」を中心に手荷物のお預かり、配送サービスを行い公共交通利用者が円滑に観光を行うための手段を確保
- バスへの自転車持ち込み実施
- 公共交通利用促進・啓発活動
- ペロタクシーによるラッピング広告にて「弟子屈2daysえこパスポート」の宣伝広告(札幌市 運行期間7月10日～24日)
- 川湯温泉駅～川湯市街地間を中心に運行(弟子屈町 運行期間7月25日～8月8日)
- 町内ノーマイカーデーを実施し、商工会を中心としたビアガーデン等のイベントの実施(開催日 7月10日 8月7日 9月11日 10月9日)
- 観光交通シンポジウムの開催
- 3月13日開催予定

## 自己評価のポイント

- 調査結果から利用者の総合評価として「満足・やや満足」の合計が98%と事業への非常に高い評価を得ており公共交通利用推進・活性化に向けて適切な事業であると判断される。
- 利活用推進について効果があったものと考えているが、一方で収支については改善が必須の状況である。
- 「えこパス」の存在を現地に来て初めて知った割合は54%と半数を超えており、今後の利用者増加には積極的なPRが必要と考えている。

## 二次評価のポイント

自己評価のとおり、自立性・持続性を持った事業となるよう期待する。